



# 吉野川グリーン

## 流れに挑む

山も緑、流れも緑。例えば「千歳緑」の深い緑から、「白緑」の爽やかな緑まで、さまざまな緑に染まる大歩危一帯は、全国各地のカヌーイストやラフティング愛好家に高く評価されている、日本有数の川遊びポイント。

訪れた人々は、まず川岸で水の美しさに歓声を上げます。何よりここは通年水量が豊富で、その気になれば一年中遊べるほど。「こういう川は意外と少ない」と、カヌーの専門家は語ります。北国は当然ながら冬に川遊びはできません。南の川に行けば、真夏に水が涸れてしまうことが少なくありません。ところが、吉野川は真夏も真冬も豊かな川の流れに恵まれています。ですから、ここに住んでカヌーやラフティングの腕を磨きたい



と思う人が多くなりました。ちなみに、個人ではなく業者が開催するラフティングツアーをコマージュラフティングと呼びますが、日本で初めてコマージュラフティングが行われたのは、ここ吉野川です。

## 流れに浮かぶ

今ではラフティングボートでにぎわう吉野川。はるか昔、その水面に浮かんでいたのは「かんどり舟」という素朴な舟でした。

明治二十四〜二十五年ころ、日本一の難所と言われていた大歩危・小歩危も国道の開通によって、多くの人が訪れるところとなりました。そこで、観光客のためにかんどり舟で川魚の漁を始めた人物がおります。川を上り下りしている内に景観の素晴らしさに心打たれ、宿泊客などを乗せての大歩危観光遊覧が始まりました。

今では安定感のある動力船での運航となった「大歩危峡観光遊覧船」。ラフティングやカヌーには年齢制限がありますが、遊覧船ならば赤ちゃん連れでも安心して川遊びを楽しめます。冬は雪見も楽しめる「こたつ船」も登場します。



## 億年前の記憶

平成26年3月、大歩危は国の天然記念物に指定されました。大歩危の岩石は、2億年前から1億年ほど前に海底深く生まれたもので、学名を結晶片岩と言います。

